

## □ 要請番号 (JL63019B34)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モザンビーク	G159 数学教育	20～45歳のみ	グループ型	新規	2年	・2020/1・2020/2・2020/3

## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

教育・人間開発省

## 2) 配属機関名 (日本語)

シャイシャイ初等教育学校教員養成校

## 3) 任地 (ガザ州シャイシャイ市) JICA事務所の所在地 (マプト市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約4.0時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

モザンビークに27校ある公立初等教員養成校(IFP)のひとつで、南部の交通の要所シャイシャイ市(人口約15万)に位置する。7年制の初等教育学校(日本の小学1年生から中学1年に相当)で働く将来の教員を1年の課程で養成している。1972年に開校し、2006年に日本政府の援助で施設の改築・増設を行った。6クラスに分かれ約300人の学生が在籍する。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

モザンビークの27校のIFPのうち18校は1年制で、初等教育学校(7年)、及び中等教育学校前期(3年)の修了者が入学資格を得ている。「就学期間10年+養成期間1年」で教員として学校に送り出さなければならないため、多くの課題が浮き彫りになっている。同国では2012年から養成期間を3年に延ばしたカリキュラムを8つのモデル校で試験的に実施しており、その対象校は今後拡大していく見込み。それに伴い、教員の側も知識、指導力の向上が急務になっている。一方、JICAではIFP学生向け算数・理科教育関連教材の開発プロジェクトを進めており、計算分野を中心に扱っている「数学I」が完成、パイロット3校で試験的に導入されモニタリングを行っている。本配属先にも日本人専門家の往来があり、連携効果が期待できることから要請が挙げられた。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

1. 学生に対して、学習者主体の算数の授業について、指導・助言する。
2. 同僚教員に学習者主体の授業、教材の工夫・改善及び授業研究について指導・助言する。
3. 付属小学校などで行われる実習に同行する。

可能であれば必要に応じて以下の活動も期待される。

1. 学校の事務補助
2. 課外活動など配属先が希望する業務

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

パソコン、プリンター、コピー機

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

校長:男性、50代

教員:約40名 平均年齢35歳、教員資格保持者多数

5) 活動使用言語

ポルトガル語

6) 生活使用言語

ポルトガル語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

**【資格条件等】**

[免許]：(小学校教諭)

[学歴]：(大卒) 備考：同僚と同等レベル

[性別]：( ) 備考：

[経験]：(教員経験) 2年以上 備考：同僚に対して指導を行うため

**任地での乗物利用の必要性**

不要

**【地域概況】**

[気候]：(サバナ気候) 気温：(10～40℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

**【特記事項】**